

決算審査での主な質疑

【質疑】 一般会計決算が黒字となった要因と自主財源の確保について

【答弁】 歳入は臨時財政対策債を含めた実質的な地方交付税や前年度繰越金で当初より約33億円の剰余が出たほか、歳出は生活保護費等の扶助費が増となった一方で人件費や公債費等の不用額などで約7億円の財源剰余が生じた。このため、基金の取り崩し9億円や約20億円の退職手当債の発行を取りやめた結果、約9億3千万円の黒字となったものである。

【質疑】 地域ブランド形成推進事業について

【答弁】 新たな観光資源や取り組みを効果的に情報発信し、函館のブランド力を高めるため、香雪園のライトアップイベント、イカール星人を活用した函館ブランド映像制作事業等を実施し、函館の歴史・食・景観を全国にPRした。香雪園のバス入込台数が大幅に増加したほか、函館のブランドイメージ

の定着や発展に効果があつたと考えている。

【質疑】 函館市社会福祉協議会貸付金について

【答弁】 市が毎年社協に貸し付けした1千万円を原資に一時的に困窮する市民に社協が生活維持資金を貸し付けする応急生活資金の貸付状況は年々増加傾向にある一方、連帯保証人を貸し付け条件に加えたりことや督促強化により滞納額は減少傾向にある。平成22年度の滞納額は6千309万円で、内訳は借受人の死亡・破産や居所不明によるものが約2千444万円、生活困窮者が約3千499万円、現在、償還中が約366万円となっている。滞納対策としては、社協で平成22年度から滞納処理専門員を配置し、滞納者への催告や実態調査を進めており、誠意のない滞納者には法的措置も視野に入れた対応をとるとしている。市も社協と連携し適正な債権管理に取り組み、回収見込みのない債権は債権放棄の手続きなどにより整理したいと考えている。

議決結果 第3回定例会【決算、意見書】

◎=満場一致で可決 ○=賛成多数で可決 ▲=賛成少数で否決 ●=賛成なしで否決

平成22年度決算	◎	平成22年度函館市一般会計決算
	◎	平成22年度函館市港湾事業特別会計決算
	○	平成22年度函館市国民健康保険事業特別会計決算(反対:日本共産党)
	◎	平成22年度函館市自転車競走事業特別会計決算
	◎	平成22年度函館市奨学資金特別会計決算
	◎	平成22年度函館市地方卸売市場事業特別会計決算
	◎	平成22年度函館市老人保健医療事業特別会計決算
	○	平成22年度函館市介護保険事業特別会計決算(反対:民主・市民ネット、公明党)
	◎	平成22年度函館市風力発電事業特別会計決算
	◎	平成22年度函館市母子寡婦福祉資金貸付事業特別会計決算
	○	平成22年度函館市後期高齢者医療事業特別会計決算(反対:日本共産党)
	◎	平成22年度函館市水道事業会計決算
	◎	平成22年度函館市温泉事業会計決算
意見書	◎	平成22年度函館市公共下水道事業会計決算
	◎	平成22年度函館市交通事業会計決算
	◎	平成22年度函館市病院事業会計決算
	◎	2012年度「公立高等学校配置計画」の撤回・再考を求める意見書
	◎	大規模災害時に備えた公立学校教職員派遣制度の創設を求める意見書

討論

「平成23年度函館市一般会計補正予算」、「平成23年度函館市温泉事業会計補正予算」、「函館市税条例の一部改正」および「函館市立保育所条例の一部改正」について日本共産党が反対討論を行いました。

各常任委員会は、下記について、閉会中も継続して、審査・調査を行います。

閉会中継続審査

総務常任委員会
市職員給与の引き下げを求める陳情(第1項、第2項、第3項)
市職員退職手当発行をやめることを求める陳情(第1項、第2項、第3項、第4項)
特別職報酬等審議会委員を選定の際、市長委嘱委員を少数に限定し、一般市民公募委員を多数にするよう求める陳情(第1項)
民生常任委員会
本町地区が商業地域の機能を発揮し健全な繁華街として発展できるような対策を求める請願
函館市自殺に関する総合対策の緊急かつ効果的な推進に向けた陳情(第1項第9号)

閉会中継続調査

総務常任委員会
北海道新幹線にかかわる諸課題について
防災対策について
函館アリーナの整備について
経済建設常任委員会
歴史的景観の保全と景観誘導施策の推進について
民生常任委員会
産業廃棄物処理施設設置計画について
地域福祉とコーディネーターについて
議会運営委員会
議会の運営に関する事項について
議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項について
議長の諮問に関する事項について

次回定例会は、12月上旬開催予定です。